

第3回旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場活用検討委員会 次 第

日 時：平成28年12月27日(火)

午前10時～

場 所：桶川市役所 分庁舎
会議室1

1. 開 会

2. あいさつ

3. 報 告

(1) 第1回会議録の確認

(2) 第2回会議録の確認

4. 内 容

(1) 活用検討委員会の役割について・・・資料1

(2) 活用の基本的な考え方について・・・資料2～4

① 重視する方針について

② 目指す姿について

③ 対象（利用者）について

④ 部屋（エリア）について

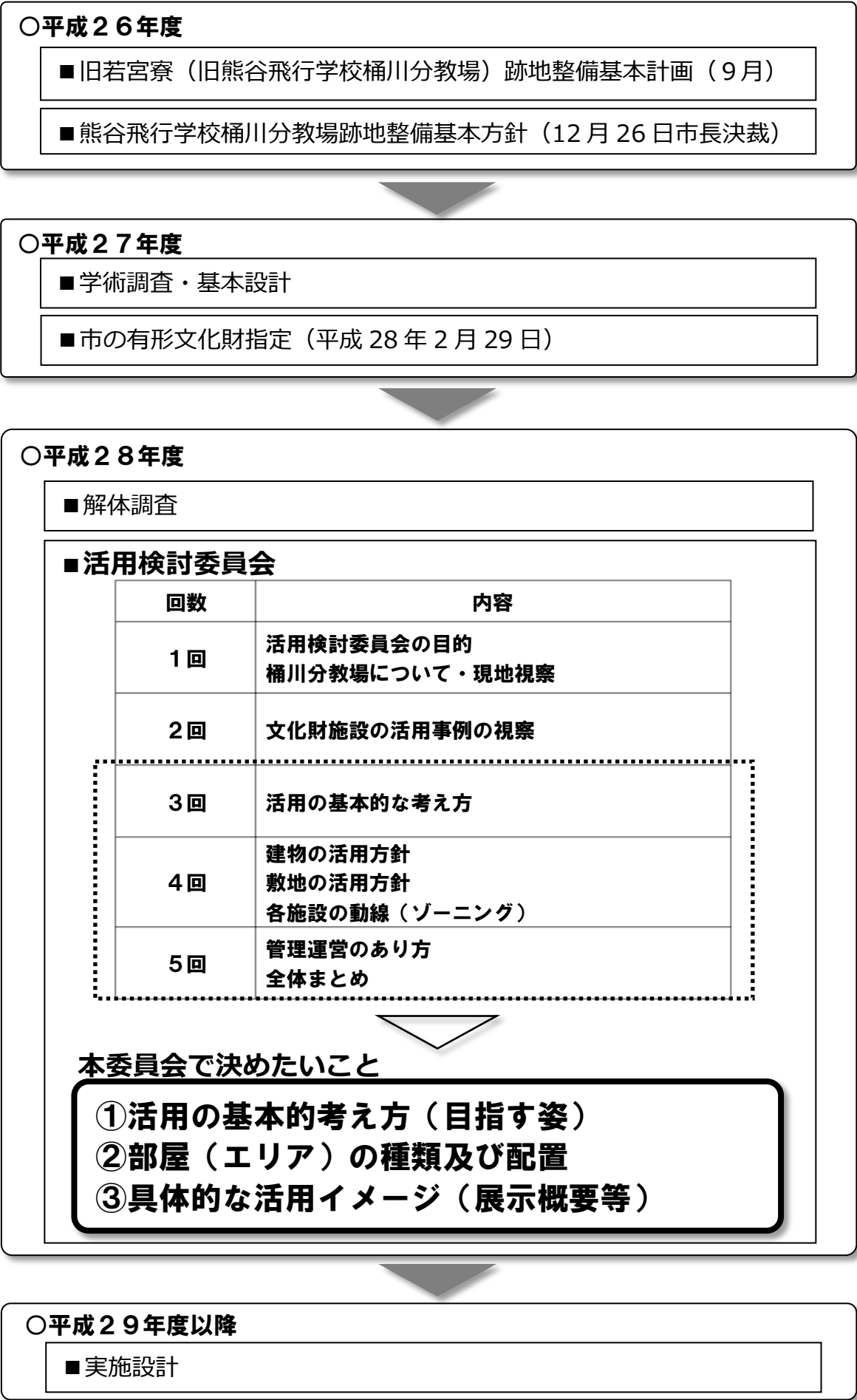
5. その他

(1) 今後のスケジュール

(2) その他

6. 閉 会

活用検討委員会の役割について



活用の基本的な考え方について

◇活用検討委員会の進め方について

【第3回活用検討委員会】

基本計画で定めた4つの「整備の方針」から重視する方針を絞りこみ、目指す姿対象（利用者）、部屋（エリア）について検討する。

整備の方針

1. 熊谷飛行学校桶川分教場の歴史的な価値の保存継承を図る
2. 平和を考える場として活用を図る
3. 広域的な観光ルートを視野に入れたテーマ性の高い立ち寄り観光拠点とする
4. 地域で利活用できる施設とする

①重視する方針

※4つの「整備の方針」から1つ選択

②目指す姿

③対象（利用者）

④部屋（エリア）

【第4回活用検討委員会】

- 建物の活用方針
- 敷地の活用方針
- 各施設の動線（ゾーニング）

【第5回活用検討委員会】

- 管理運営のあり方
- 全体まとめ

●既存施設の事例【埼玉県平和資料館（東松山市）】

対象

目指す姿	県民に戦争の悲惨さ及び平和の尊さを伝えることにより、 県民 の平和に対する意識の高揚を図り、もって平和な社会の発展に寄与する。
部屋（エリア）の種類	・常設展示室 ・企画展示室 ・講堂（多目的利用 映画上映や講話など 階段状に160脚のイス） ・マルチライブラリー（図書閲覧、ビデオ鑑賞、パソコンによる資料検索） ・分類展示室（約1,200点の資料の保存を兼ねた特別の収蔵展示室） ・休憩コーナー（自動販売機設置・イス・テーブル）
展示概要	■常設展示 ①解説パネルや写真を活用し、昭和初期から終戦までの期間を歴史的移り変わりの中で軍事主義が強まり苦しくなった県民の耐乏生活など県民と戦争との関わりを紹介 ②映像を通じて戦争体験の話を聞く ③戦争中のある1日を教室で疑似体験 ■企画展示 出征兵士への祈りに込めた思いについての紹介、写真や寄書き等寄贈資料から戦時の記憶を辿る等、特定テーマによる期間限定展示
その他の取組み	■学校団体対応（ミニ授業、体験ツアー、学芸員が学校へ行く出前授業） ■資料や写真パネル、DVDの貸出し
建物全体の様子／ゾーニング（出典：平和資料館公式HP）	
管理運営等	管理運営：指定管理者 指定管理者以外、県職員4人が資料収集、調査研究、展示等を行う 料 金：入館料無料、資料貸出し無料

活用の基本的な考え方について

◇ 第五次総合振興計画における桶川分教場の取り組みと基本計画の4つの「整備の方針」

旧若宮寮（旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場）跡地 整備基本計画 ＜平成26年9月＞ 「整備の方針」	第五次総合振興計画後期基本計画 ＜平成28年4月＞ 桶川分教場に関連する施策	考えられる活用・展開方法	
■ 熊谷陸軍飛行学校桶川分教場の歴史的な価値の保存継承を図る - 旧建物群のホンモノの価値の保存するため、建物の保存修理を行う - 分教場に係わる資料の収集保全を図る - 運営活用の担い手の育成を図る	施策206：文化・芸術の振興・保存・継承 [対 象] 市民、文化財 [目指す姿] ●多様な文化芸術にふれ親しんでいる ●地域の歴史や文化財を大切にしている	○展示パネル（図面、説明文）や当時の写真による文化財建造物としての価値を説明 ○現物観察による、建築上の特徴の説明 ○当時の家具や人形を用いた、学びや暮らしの再現展示	  競進社模範蚕室（本庄市）再現展示の例
■ 平和を考える場として活用を図る - 飛行学校等の資料展示を行う場とする - 運営活用の担い手と協働ができる場とする - 本市の民俗資料館等と連携した運営とする	施策205：人権教育・啓発と平和の推進 [対 象] 市民 [目指す姿] ●人権と平和に対する理解と認識が深まっている ●人権と平和が尊重される社会づくりのために行動している	○桶川分教場での訓練や生活の様子を展示 ○平和を考えるイベントの開催	  埼玉県平和資料館 資料展示やイベントの例
■ 広域的な観光ルートを視野に入れたテーマ性の高い立ち寄り観光拠点とする - 陸軍飛行学校桶川分教場の歴史的価値を伝える専門性の高い施設とする - 本部兵舎棟の正面性を活かした景観形成を図る - 埼玉県平和資料館等とも連携できる場とする - 眺望（荒川河川敷、富士山等）に優れた視点場とする	施策604：観光の振興 [対 象] 市内の観光地、市内外の人 [目指す姿] ●地域資源を発掘・活用することによって、多くの人が訪れ、楽しむ事ができる ●観光情報が市内外に発信されることによって、多くの人の関心が集まっている	○地域資源を活かした多目的利用 ○周辺の景観と一体となった活用	  道の駅 第九の里（徳島県鳴門市）物産館としての活用の例
■ 地域で利活用ができる施設とする - サイクリングロードや運動公園利用者の便益施設とする - サークル活動や講座等ができる場とする - 営庭等を広場として、サクラ等を楽しめる場とする	記載なし	○地域住民の憩いの場の提供	  加納公民館 地域の団体活動の場の例

活用の基本的な考え方について

◇基本計画における4つの「整備の方針」に関わる委員の皆様からのご意見

基本計画	意見内容
歴史的な価値の保全継承を図る	・ 建物の構造を説明するパネルなどを展示する。 ・ 建物の建築様式が特異で興味深いので建築の詳細を説明する。 ・ 戦争当時の建物として、メートル法と尺貫法が混ざっている点が、歴史上貴重であり、そのような建築学上の貴重性をアピールする。 ・ 傷んでいる箇所を修理して保存すること、文化財（桶川分教場）がどのように大事なのかを含めて広く知ってもらう。
平和を考える場として活用を図る	・ 桶川分教場保存の基本的な考えに基づき、平和の大切さを学ぶ施設とする。 ・ 戦争と平和を考える場、空と飛行機と飛ぶ事の学びの場として整備する。 ・ 平和を語り継ぐ場所として整備する。 ・ 戦争遺構を保存・整備し、観光の名所・平和を訴える場として活用する。 ・ 悲惨な過去があって現在がある平和の尊さを判ってもらう。 ・ 一定の入場者数を確保するためにも、小中高生の平和、社会、歴史学習の場として活用されることが望ましい。 ・ 児童や生徒には、（桶川分教場が伝えるテーマは）平和目的であって、決して戦争肯定でないことを伝える。 ・ 子ども達が学ぶ場、市内の学校行事で現代史を学ぶ場として活用する。
広域的な観光ルートを視野に入れた立ち寄り観光拠点とする	・ 戦争遺構を保存・整備し、観光の名所・平和を訴える場として活用する。 ・ 桶川分教場周辺の地元ならではの珍しい品物など、色々調べても良い。 ・ 共通の地図を使用した看板を市内数ヶ所に設置し、見学者が現在地や見学ルートを確認しやすくし、お客様の流れをつくる。 ・ 周辺の見学施設・観光施設との連携が必要である。 ・ ホンダエアポートやサイクリングロード、道の駅等の周辺資源と連携する。 ・ サイクリングロードの途中にあるので、観光・交流拠点として整備する。 ・ 西側は段差があり富士山や秩父の峰々の眺めが良い場所なので、公園化して、山を見ながらゆっくりと当時の若者達が学んだ時代を思うのも良い。 ・ 高台の立地を活かして、西側の樹木を整理し、展望台として活用する。
地域で活用できる施設とする	・ 多目的に使える作業場、会議等ができる部屋 ・ 徒歩やサイクリングで来る人もいると思われるため休憩室があるとよい。

◇第 1 回検討委員会 活用の方向性についての皆様からの御意見

- ・元々は現在の建物だけでなく、何棟もの建物がありました。多くの建物は（若宮寮の時代に）消失しています。平和を語り継ぐ場所として整備してほしいと考えています。

- ・戦争遺構として保存・整備されるのであれば、観光の名所として、平和を訴える場として活用できるとよいと思います。

太郎右衛門橋からの見学経路は自動車でのアクセスが悪いと感じています。陸軍が使っていた頃の道路がどのようなだったか整理した方がよいと思います。

- ・文化財保護審議委員の立場としては、傷んでいる箇所を修理して保存することと、文化財を皆さんに知っていただくことが大事だと考えます。どのように大事なものであるかを含めて知っていただくことが希望です。また、地下には埋蔵文化財があるので、整備の際には破損しないように留意してほしいと思います。

市民の立場としては、まずは市民の方に興味を持っていただくことを含めた活用方策を進めていけたらと思います。市内から市外や海外へと、広く外部の方に知っていただき、訪れてもらうことに繋がるとよいと思います。

- ・体験型の観光が主流になっているので、単に資料をみる資料館ではなく、当時の日本で起きていたことを肌で感じるができる工夫があるといいのではと思います。平和を考える場とすれば、当時の戦争の体験や教育を受けた方の話を含めて、映像や、音声を残していくことが、教育上重要ではないかと思います。

立地上サイクリングロードの途中にありますので、観光や人々の交流の拠点となりうる点も含めて整備することも考えられます。その他市内の文化財と連携して発信もできるとよいと思います。駐車場や交通アクセスが課題であると思います。

- ・観光協会としては、今後、目的を整理したいと思いますが、飛行学校の何を伝えていくのか、市の考え方が幅広いと感じます。観光とひと括りにしても、戦争のことから、平和か、建物の歴史的背景か、サイクリングロードの立寄り公園なのか。

来訪者や案内ガイドさんは高齢の方が多いです。平和や遊びの要素も考えていった方がよいかと思います。

- ・西側に大木があって薄暗い感じがしますが、樹木を整理してはどうでしょうか。高台なので、樹木を整理して展望台として活用できるとよいと思います。

- ・桶川分教場をいかに活用したらよいかについてですが、現存の施設だけでは、アピールする材料が少ないように思います。桶川分教場のそばのホンダエアポートやサイクリングロード、道の駅など、分教場だけでなくこれらの取り組みと並行、連携して進められるとよいと思います。駐車場や出入り口は今後整備すれば良いことで、広域的にはアクセスがよくなってきていると感じています。

- ・メートル法と尺貫法が組み合わされた建物が、戦争当時の建物として、歴史上貴重とことです。そのような建築学上の貴重性もアピールしていけるといいのかと思います。

子どもたちが訪れて学べるような場、市内の学校行事で現代史を学ぶ場として活用しやすい施設になるといいです。

川越市における蔵造りのまちづくりは、都内から40kmの近郊にあって、地元の皆さんが頑張ったことがポイントでした。桶川市も昔に比べて自動車交通のアクセスがよくなって多くの人に来ていただけます。その際に桶川分教場だけで観光客を呼ぶのは難しいので、道の駅など、複数の周辺観光資源が連携して、より多くの方々の来訪を進められると良いと思います。

◇ 第2回検討委員会 ワークシートまとめ

(1) 視察を踏まえ、桶川分教場にはどのような方が来館することが望ましいと思いますか？＜年齢、来館の目的など＞

- ・ 桶川分教場保存の基本的な考えに基づいて、平和の大切さを感じて頂けるように進める事が良いと思います。
- ・ 定量的に来館してもらうという事からは、小学校高学年以上の子ども達に来てもらう事が良いと思います。まずは市内より始め、次第に県内、関東近辺へと展開できればベストと思う。
- ・ 一般の方々は、単独での来訪は難しいと思われるため、近隣の観光地とセットにできると良い。
- ・ 戦争と平和を考える場。空と飛行機と飛ぶ事の学びの場。
- ・ (平和や戦争について) 展示内容に対応できるなら子どもでもよい。
- ・ 短時間でも見学できる。(見学することができると来館しやすい)
- ・ 一定の入場者数を確保するためにも、小中高生の平和、社会、歴史学習の場として活用されることが望ましいと思います。
- ・ 市内および近隣の学校への継続的な宣伝が必要。
- ・ 子どもからお年寄りまで年齢層は幅広くてよい。
- ・ 児童や生徒には、(桶川分教場が伝えるテーマは) 平和目的であって、決して戦争肯定でないことをハッキリと教える。
- ・ 老若男女に興味を湧くような展示品を揃えたり、語り部を置くなどして、リピーターの来館を目指す。
- ・ 年齢などに関係なく、幅広く興味を持てる物(施設)にして、見学に来た人がもう一度来たいと思う物(施設)にしていきたいです。
- ・ 年齢を問わず、また来館したくなるような施設にしてほしい。

(2) 桶川分教場で展示を行う場合には、何を展示するとよいと思いますか？

- ・ 桶川分教場で実際に使用していた飛行機のレプリカを展示し、当時と現代の技術の進歩を感じてもらう。他の備品等も当時の物と現在の物を比較できるように展示してはどうでしょうか。ただ古い物を見るだけでなく比べる事で技術の進歩を感じてもらえると思います。
- ・ 桶川分教場の関連品や戦争に係わる物
- ・ 飛行機、空、飛ぶ事、の関連品
- ・ 展示されたものを見るだけでなく、重さや大きさなど、触れて体感できる展示物が必要
- ・ 建物の構造を説明するパネルなど
- ・ 学校教育、教科書の内容とある程度一致した解説パネル。世界、日本、埼玉、桶川のそれぞれがどのような経緯を経て桶川分教場が作られるに至ったのかがわかるようにする。特に児童向けのパネルを別に作る。
- ・ 地元の昭和戦中戦後の生活用品などを、たまに入替えながら展示する。
- ・ 地元民家には当時の兵隊の衣服、銃剣など残っている話を聞いているので、それを展示物としても良いかも。
- ・ 悲惨な過去があって現在がある平和の尊さを判ってもらう展示方法
- ・ その当時の物も当然ですが、桶川分教場周辺の地元ならではの珍しい品物など、色々調べても良いと思います。
- ・ 飛行学校に関する資料が、どのようなものがあるかわからないです。

(3) 桶川分教場では、展示室の他にどのような部屋があるとよいと思いますか？

- ・ 歩いて来る方やサイクリングで来る方も居ると思いますので、休憩室は欲しいです。
- ・ 外部、西側は段差があり、富士山や秩父の峰々を眺めるのに良い所です。公園化して、山を見ながらゆっくりと当時の若者達が学んだ時代を思うのも良いと思います。
- ・ 子ども達が見学後に楽しく遊べるよう、グラススキー場みたいな遊具を設けて、平和の大切さを感じてもらいたい。
- ・ 多目的に使える作業場、会議等ができる部屋
- ・ 会議室もしくは研修室
- ・ 食事スペース
- ・ 施設（に関連した）の話を聞くことができるスペース
- ・ トイレ（必要な数）
- ・ バリアフリー（対応）
- ・ 桜を見られるようにするのであれば、屋根のあるところで飲食できるような部屋
- ・ 埼玉県平和資料館を例に見ると、内部に子ども達の絵や作文を展示すると喜ばれる（ため展示スペースがあるのはどうか）
- ・ 建物の建築様式が特異で興味深いものがある。その建築の詳細を説明する部屋があっても良いかも。
- ・ 戦時中当時を体験できるシミュレーションコーナー。2度と戦争を起こさない感覚を体験させる。
- ・ 小学生の社会科見学の時などに実際に触れるような部屋など体験型にしてもよいと思います。
- ・ 飛行機の模型が展示された部屋
- ・ 映像室

(4) 本日の視察を経て、桶川分教場に活かすことができることはありましたか？

- ・ 今回見学した施設の内容を取り入れる事は難しいと思いますが、考え方として、見て触れるような展示方法は良いと思います。だいたい多くの施設は、ガラス越しに見るだけの所がほとんどです。やはり、見て触って動かしてとならないと感動がないのではないかと思います。
- ・ 他の施設や地域との連携が来館者を左右すると思った。
- ・ 見学に来る方のレベルに合わせた説明ができる人が必要。見学に来る方は事前勉強してくる方ばかりなので、はじめての方にも分かるような展示説明がほしい。競進社模範蚕室では、子ども向けに説明パネルがひらがなになっていてよかった。見学対象者によりますが、字の大きさ・説明内容は十分検討が必要だと思います。
- ・ パンフレットに建物の構造が書かれているのがよかった。建物の中には説明表示が見当たらなかったため、内部にも必要だと思いました。
- ・ 共通の地図を使用した看板を、市内数ヶ所に設置。見学者が現在地の確認と見学ルートの参考になれば、お客様の流れを作ることができる。
- ・ 近くの見る施設との連携が必要。
- ・ 団体受入れのための大型バスの駐車、移動スペースの確保は絶対必要。
- ・ 渋沢栄一生地中の家や尾高惇忠生家などはシルバーさんに委託し、説明、掃除、庭の手入れなどをしているので参考にしてみてもいいかなと思います。
- ・ 説明者がいた方がよいと思いました。ただ戦争の話なので、個人の歴史観や思想よりは、事実関係に基づく客観的な説明が望ましいと思います。市としての指針を説明者に示すことが重要。
- ・ 桶川市の歴史民俗資料館をまだ拝見していないのですが、ある程度、展示内容のすみ分けが必要かと思います。桶川分教場では昭和以降の桶川市の歴史が重点的に学べるようにするなど。
- ・

- ・ 桶川分教場発足の経緯、戦時中の活動状況、戦後の流れ、それぞれの時期に地元住民とどんな関わりがあったか調査が必要か。
- ・ 今後桶川分教場を再建するに当たり、今回の視察よりも、もっともっと直接役に立つ場所。茨城県の予科練平和記念館を視察してみてはどうか。直接役に立ちます。絶対に方向性が見出せます。[所在地：稲敷郡 阿見町廻戸 5-1／連絡先：029-891-3344／月曜休館]
- ・ 小学生の社会科見学時、実際に触れる体験型になるとよいと思います。
- ・ 管理、現場の説明員などシルバー人材の方々をお願いすることはとても良いと思います。
- ・ 資料館にするのか、公園風にするのか、飛行学校（桶川分教場）の方向性がよく分からない。